

令和2年度

湖南省公共施設等マネジメント推進委員会  
議事要旨

第2回会議

(令和2年11月2日開催)

湖南省財政課行財政改革・ICT 推進室

## 出席者

委員長	新川 達郎
委員	戸簾 和俊
	山本 佐喜男
	古市 泰丸
	西山 由記
	福島 由美子

## 事務局

市長	谷畑 英吾
総務部長	井上 俊也
総務部次長	森村 政生
財政課行財政改革・ICT 推進室長	青木 浩司
財政課行財政改革・ICT 推進室長補佐	森岡 和也
財政課行財政改革・ICT 推進室長補佐	伊原 優実
財政課行財政改革・ICT 推進室主任主事	谷口 達哉

開会 午前9時30分

事務局

本日は、ご出席をいただきまして、厚く御礼申し上げます。  
ただいまから第2回湖南省公共施設等マネジメント推進委員会を開催いたします。

それでは、開会に先立ちまして、谷畑市長から一言ご挨拶を申し上げます。

市長

皆さん、おはようございます。

本日は委員の皆様方には大変お忙しい中にも関わりませず、今年度に入りまして第2回目となります公共施設マネジメント推進委員会に、ご出席いただきましてありがとうございます。

また、平素から湖南省の行政改革、全般にわたりまして、ご熱心にご議論、ご支援をいただいておりますことに、改めて厚く御礼を申し上げる次第でございます。

本市におきましては、人口減少の時代、そして同時に少子高齢が進む時代におきまして、この生活基盤となります社会の構造が大きく変わってきていると認識をさせていただいております。次の世代に過度の負担がかからないということで平成28年3月に策定いたしました第三次行政改革大綱により、財政改革を進めている最中でございます。市民の皆様や、事業者の皆様との協働によりまして、本市の総合計画で掲げております、まちの将来像、ずっとここに暮らしたい、みんなでつくろうきらめき湖南の実現に向けまして、取り組ませていただいております。また第三次行政改革大綱が今年度最終年度となりますことから、次年度から取り組むべき第四次行政改革大綱の策定を現在進めているところでございます。

そうした中、将来を見据えた持続可能な行財政運営と、財政の健全化のために、建設後30年以上経過をし、老朽化が懸念される公共施設が、施設全体の50%を超えている本市におきましては、今後著しく増加することが予想される維持管理経費をどのように抑制し、または施設そのものの必要性について、喫緊に検証していかなければならないところでございます。

そのため、施設ごとに利用状況や老朽化等の状況を精査し、今後10年間の方向性を示すため、現在事務局において総合管理計画の個別施設計画の策定について取り組んでいるところでございます。

本日の委員会では、この個別施設計画素案の内容につきまして、ご説明をさせていただき、委員の皆様方から各施設の方向性などについての忌憚のないご意見を賜り、計画の策定に進めて参りたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。

以上、簡単でありますけれども、開会に際しましてのご挨拶をさせていただきますが、この場をお借りして私は今月の6日をもちまして、退任をさせていただくこととなりました。

委員の皆様方には長い間にわたりましてお力添えを賜りましたことに対しまして、改めて厚く御礼を申し上げますとともに、引き続き、湖南市の行政改革へのご貢献をお願い申し上げます。簡単ではございますが開会にあたってのご挨拶をさせていただきます。

どうか本日もよろしくお願いを申し上げます。

事務局

続きまして、新川委員長様からご挨拶をちょうだいいたしたいと思っております。

新川委員長、よろしくお願いをいたします。

委員長

改めましておはようございます。

本日も公共施設のマネジメントについてしっかりご議論をいただければというふうに思っております。先ほども市長からご挨拶ございましたように、本当にコロナ禍もそうですし、先行き日本社会全体の大きな方向というのは、かなり不透明なところも多かろうかというふうに思っております。その中でトレンドとしてはやはり縮小社会ということを考えざるをえないといった状況であり、本市も例外ではないということでございます。翻ってその中でどういうふうに未来を見通していくのか、先ほども総合計画等での将来展望をお示しいただきました通り、地域の暮らしというのをどういうふうに未来に向かって持続可能なものにしていくのか、その大きな役割その担い手の一つが、市政ということになろうかというふうに思っております。

この市政そのものを、どういうふうにこれから市民生活を維持できるような体制に持っていくのか。それが行革の大きなねらいでもあります。その主要な柱立ての一つが、今回ご議論をいただきます公共施設のマネジメントということになろうかというふうに思っております。市民サービスの主要な役割の多くを担っているのがこうした公共施設であり、こうした施設を通じて様々なサービスが提供されているのですが、こうした施設のありよう、それは時代とともに社会経済の変

化とともに、そして湖南省の地域の変化とともに変わっていかざるをえないようになってきております。それをしっかりと読み取りつつ、これら施設のあり方というのを、本当に考えていかないといけない時期にきており、以前のようにどんどんと人口が増え、そして経済が活発になっていくそういう状況であれば、施設を単純にふやせばよかった、そういう時代もかつてはありましたが、もはやそういう時代ではない。いかに上手にたたむかというそういう時代に入っているというふうに、お考えいただければというふうに思います。

すでにそういう大きな方向は、公共施設の総合マネジメントということでしっかりと出させていただきました。そして同時にその全体の区分に従って今度はそれぞれの施設の種類ごとに、また、重要な施設のあり方について、しっかりと計画を立てて実行していくという段階にきているということでもあります。

本日は個別施設の計画についてご議論をいただきますが、ぜひ皆様方からも、本当に施設の必要性そして将来に向けての展望、そうしたところを踏まえた個別施設のあり方について、ご意見をしっかりと賜っていただければというふうに思っております。

なお、この間、改めまして行革やこの公共施設のマネジメントということについて、リーダーシップをとっていただきました市長様には、本委員会委員長としても大変バックアップをしていただいたこと、改めてお礼を申し上げましてご挨拶に代えさせていただきます。

本日もよろしく願います。

事務局

ありがとうございました。

議題に入る前に、本日の会議の成立についてご報告をさせていただきます。本日の委員会につきましては、委員の皆様6名全員ご出席をいただいておりますことから、公共施設等マネジメント推進委員会規則第三条第2項の規定に基づきまして、会議が成立していることを報告させていただきます。

なお、市長は、公務の都合によりここで退席をさせていただきます。

それでは、ここからは委員会の進行を新川委員長様にお願いしたいと思います。

それでは、どうぞよろしく願います。

## 議題

### 湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定について

委員長

それでは早速でございますけれども本日の議題の方を進めさせていただければというふうに思っております。

本日の議題は1件でございます。

湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画の素案について事務局からまずはお説明をいただき、そのあと、各委員からご意見をいただいて参りたいというふうに思っております。

それでは事務局の方からまずはお説明をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いをいたします。

事務局

(概要説明)

委員長

どうもありがとうございました。

ただいま、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設のそれぞれの今後の方針についてかいつまんでご報告をいただきました。

各施設の状況を踏まえて、今後の施設のあり方、大きく言えばやはり統廃合や複合化、また長寿命化、建て替えなども含めまして、検討いただいた結果ということでございます。どうぞご質問なども含めましてご発言をいただければというふうに思います。

よろしくお願いをいたします。

委員

ちょっと確認なんですけれども、例えば29ページに、図表の5-6で、施設別の利用状況及びコスト状況という形の部分で、47番から石部図書館とか、甲西図書館とかありますが、参考指標というところで他の施設なら利用者数とかいうのが3カ年平均で年間何人とか出てるんですけども、石部図書館とか甲西図書館とか、あとは、そういったところの数値が歯抜けになってるんですけども利用者数は確認できていないということなのでしょうか。

事務局

利用者数についてはこちらで把握をさせていただいております、47番48番石部図書館、甲西図書館についてはそれぞれ把握をさせていただいております。そのうえで、利用状況に記載をさせていただきます数値につきましては、石部図書館を利用されている人数を、石部図書館の延床面積で割らせていただいている数字でございます。単純な利

利用者数の比較ということではなく、小さい施設に利用者数が多くいらっしやれば、より市民さんにとって必要な施設と認識できるのではないかとということで単純に利用者数を載せるのではなく、それをさらに延床面積で割らせていただいた数字をこちらに記載をさせていただきました。

委員

これを見てると、21 ページに延床面積が記載されていますので、単純にかけたら利用者数の数字がわかるのかもしれませんが、別の資料を見ないと、数値が出てこないという部分についてはせっかく指標名が書いてるんで、どのぐらいの利用者があるのか確認できてもいいのかもしれませんし、甲西図書館は単位あたりでは少ないかもしれませんが面積からいくと利用者数もかなり多いかなと思います。そういったところが、別の資料を見ないと全体の数字が見えないというのでは、どうかと思いますので、ここにも、年間の利用者数とかが、入力していた方がわかりやすいかなと思います。

事務局

参考資料の数字のところに利用者数を追記させていただきましてわかりやすいように努めさせていただきます。

委員

かなりの保育園が民営化され民間企業に譲渡されておられたと思うんですけども、36 ページの下田こども園、岩根保育園、石部保育園、平松こども園とか、そういったこども園あるいは保育園等が一応存続し市の管轄で存続させるというところっていうのは、一応BCPの観点から残していこうというふうなことも、この前お聞きしたと思いますが、民営化できるのであれば民営化しながら、その質を向上させながら、例えばBCPの観点であれば、民間企業と連携しながら、何か災害の時にはそういった施設を利用できるような関係を築いていければ市の方でそこを維持管理することから脱却できるということも考えられるのではないかと思います。ただし、これはあくまで意見であって、市民の皆さんはやはり市でそういった施設はカバーしておいた方がいいんじゃないかという意見もあるのかもしれません。

そういったところは、やはりBCPの観点からそういった施設は残しておくべきと考えておられるんですか。

事務局

保育園等につきましては民営化というところを、以前からうたっており今年度から民営化させていただきまして、半分以上の園がもう民

営化されてるというようなところでございます。その中で、各中学校区に、1園ずつ残しており、そこに子育ての支援センター的なものを付随させまして、そこで、今後の湖南省の子育て環境も整えていくという方針のもと現在このような形で運営させていただいています。ただ委員さんがおっしゃってくださったように、これをずっとこのままの状態が続けていくことが望ましいかというところではないかもしれませんが、但し、すべての保育園をまず民営化してしまいますと、いろんな諸問題等も出てくる可能性もありますので、今のところは、中学校区に1園ずつ残させていただいております。

これから先、保育環境が変わってきましたら、そのあたりも見直しは必要になってくるのではないかと考えているところでございます。

委員

施設の除却の件ですが、50ページの132番旧青少年自然道場、134番旧雨山市民プールとありますが、青少年自然道場に対してどうしてプールがこんなに費用がかかるのかという、大きな疑問があるのがまず1点、それから施設を存続するのか、廃止するのかという選択肢のほかに、その施設を使って他に利用方法はないのかという考え方はなかったのかなというふうに感じるんですが。私たち子供の頃は、プールは夏場だけで、冬は例えばスケートリンクにというような利用方法がありました。どれぐらいの経費が掛かり維持にどれぐらいかかるのか、また使わないときにいくらかかるのかというところは、わからずに今お話ししてるんですけども、プール以外で広場みたいなところでも冬になれば快適なスケートリンクができて、またシーズンが終われば撤去するところもあります。実際に、その中で育ってきて、遊ばしてもらったんですけど。この辺りのスケートリンクといえは、大津の文化ゾーンにしかないですし、近隣の竜王であったところもなくなりましたし、維持管理とかいろんな面で大変だったので、廃止になったのだらうとは思いますが、湖南省の市民が楽しむ場というのをもうちょっと作っていく方向性で考えられる施設もないのかなという思いがあります。

事務局

まず除却の経費的なものにつきましてこちらの方は担当課にも確認もとらせていただいてその数値を計上させていただいています。金額的な部分については、プールの場合でしたら鉄筋コンクリート構造であるとかそういったところも影響しているのかというふうに思っております。それから、施設の利活用につきましては、市がまちづくりを進め

ていく上では総合計画というのがございます。そういった中で、いろんな施策なり事業を展開する、またはソフト事業を展開するに当たりまして施設も必要だということになってきましたら施設を建てていくような形になってきます。今申されました自然道場やプールにしましても、湖南省が利用状況を見まして廃止させていただきました施設であり、市の内部の中で他の施策で使えないかの検討を行っておりましたが難しい施設となります。また、この二つの施設につきましては非常に老朽化もしているというところもございまして、何らかの手を加えないことにはやはり利活用もできないということもございまして、雨山のプールにつきましては、地盤沈下などあの土地自体が傾いてきているということも聞いておりますので、利活用がなかなかできないということで、こういう結論に至っているところでございます。

委員

45 ページの 91 番から 96 番民間移譲の推進となっておりますが、建物が何軒あって、何戸住んでいらっしゃるのか。また民間移譲された場合、この住宅の全体の利活用として 10 軒あって、1 戸がずっと残っておられ、そこを民間移譲なさった場合に敷地でどの位置になるかはわかりませんが、その土地全体が使えなくなる、売ることができなくなる可能性があるように思うんですけれども、それはどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

事務局

今も言っていた住宅につきましては、以前から市の方では入居者の方にお譲りしていくというようなかたちで施策を進めています。そのところで、入居がおられないところにつきましては、市の方で取り壊しなりをさせていただき譲渡をさせていただくなりしまして、無駄が生じないように担当の方では今進めているところでございます。また、市営住宅につきましても民間需要も含めて、市が建てていった方がいいのか、民間で借りていった方がいいのか、担当課の方では検討しているところでございます。

委員

買っていて、そういうふうにご利用していく方向性っておっしゃいましたが、その全体の土地の中でその方がどこに住んでいらっしゃるかで、全く利用価値が変わってくると思うんですよね。それをどういうふうに考えていかれるのかなと思ひまして。住んでいらっしゃる方が少なかったら、統合して、ちょっとでも新しい方向で利用してもらおうとか。そういう考え方をさせていただいて、できるだけ一つの住宅地をその

ままの形で利活用する方向性で考えられた方がいいのかなって思います。

事務局

今言ってくださった通りに住宅等につきましても、空き家がとかが出てきましてそちらの方がもう使えないような状況になっておりましたら、そちらの方は廃止なりをしまして、また、今空いてる住宅がどこにあるかとか、そういったところも担当課の方が考えておりましたので、市営住宅全体、市が管理してる住宅全体につきましては今後住宅施策をどのようにしていくかという計画を今持っておりますので、無駄が生じないように、また、今言ってくださったように、もう空きが出てまして、そちらの方の活用がなければ跡地を民間譲渡するなり、より効率的に市の方でも管理していかなければいけないというふうに思っているところでございます。

委員長

市営住宅については一部の施設の存続や、あるいは長寿命化に向けての大規模改修というのがあります、かなりのところはやっぱり住宅需要がなくなっていたり、老朽化も進んでいってるという両方の事情でおそらくこういう廃止をしたり、あるいはお住まいの方に譲渡されていったりということで考えておられるということだろうというふうに思っております。

委員

除却施設の順位っていうのは、やはり安全性、危険であるところが先とかコストがかかりそうなのが先ということですか。

事務局

除却の順位につきましては、まず供用廃止してる施設につきまして、公共施設等総合管理計画に定めさせていただいておりますとおり、優先的に除却なりの検討を進めさせていただいております。

なお、来年度を期限としまして公共施設等適正管理推進事業債ということで、除却をできる起債の期限が来年度までというところがございますので、実際に除却をするのであれば早急に結論を出すというふうな形で所管課の方に相談させていただいて、優先的に計画を進めさせていただいてるところでございます。

委員長

建物を壊すのにもお金がかかるのでそのお金を、借金ができるような仕組みというのを、国が用意をしてくれていますので、その有利なお金が借りられる範囲内でできるところについては除却する計画をたて

てしまおうということで、今年来年ぐらいで集中的にということのよう  
でございます。

でも別に無理に壊す必要はありませんので必要に応じてということ  
ではあるかと思えます。

事務局

今委員長も言ってくくださったように、市が物を壊そうとしましても  
多額の費用がかかります。そういった中で、来年度まででしたら、国  
の方で借金できるという仕組みがございまして、それで一応目的には  
来年度を目途に、市が活用しない施設につきましては、除却という方向  
性を持ちまして、来年度を目途に除却をするという方向で今まで進ん  
できましたので、そういったことで今年度来年度にかけて除却する施  
設も結構あるというような形でございます。

委員

結構あるというのはどの辺にあるのでしょうか。

事務局

50 ページから 51 ページにかけて、旧という書き方をさせていただ  
いている施設につきましては、用途廃止を行っている施設でございま  
す。まず、旧農産物加工施設等につきましては実際に用途廃止しており  
まして、倉庫みたいな活用方法しかできません。底地も借地というこ  
とでございまして、こちらについては除却という方向性を出させてい  
ただいております。同じく青少年自然道場につきましてもすでに用途  
廃止させていただいておりますので除却ということで記載させていた  
だいております。134 番雨山市民プールにつきましても、同じく、用途  
廃止をさせていただいておりますので除却というふうな形で書かせて  
いただいております。次のページ 135 番、旧菩提寺こども園南園舎  
ということで、民営化に伴いまして北側の園舎につきましては民営化  
させていただいたんですけども、南側の園舎ところにつきましては、借  
りていた土地のところの園舎が建っておりましてそちらについては民  
営化をしておりません。現状、倉庫としてしか活用しておりませんの  
で、こちらについても除却という方向性をつけさせていただいてると  
ころでございます。

委員

伝統工芸会館はどうでしょうか。

事務局

こちらについてなんですけども、今現状借地ではなく、市の土地であ  
ることが一つ、あと建物が比較的道路からアクセスがしやすい

というところから倉庫としても活用ができるのではないかということで少し延ばさせていただいてるという状況でございます。

委員長

当面は倉庫利用ぐらいしか、今のところは考えられないということでもよろしいですか。

事務局

今後の利用、利活用といたしまして伝統工芸会館はもともと陶芸ということで、そういった焼き物ができるような施設だったんですけども、今現状、市内の施設で陶芸ができる施設っていうのはたくさんございまして、用途廃止させていただいています。こちらについて、民間での利活用等を検討させていただいた結果、それはちょっと難しそうだなということで、今現状としましてはもう倉庫ぐらいしか活用予定としてはないというところでございます。

こちらの施設につきましては2棟ございまして、片方の施設につきましては、かなり古い施設でございます。昨今、社会福祉法人なりが、いろんな市の施設をお譲りいただけないだろうかという相談とかもございまして安全性に問題がないものにつきましては、残しているというような状況もございます。ただ、これもいつまでも残していくわけではございませんので、もうまた不要というような形になりましたら、こちらの方も取り壊すっていうことなんですけど、除却時期をずらせていただいているというところでございます。

事務局

廃止済み施設については、劣化度調査を行っておりません。こちらの施設については、用途を廃止しておりまして、現状人も職員ぐらいしか入らない施設になりますので、そちらについては優先的に劣化度を判断するというよりも、今後利活用があるかないかということに重きを置かせていただいておりますので、劣化度調査についてはやらせていただけないという状態でございます。

委員

43ページの、76番のじゅらくの里のところで、借地のため建物を含めた返却を検討しますと書いてありますが、建物はこれ有料で返却を考えているのでしょうか。どういう意味でしょうか。

事務局

こちらにつきましてはじゅらくの里「土の館」、あるいは「木工の館」、「もりの駅」、それぞれが借地ということでございますので、実際に敷地が借地ということから施設は、無償で返せるかというふうなこと

を考えながら実際に検討を進めていきたいと考えております。ただ、無償と申し上げましたけども、あくまで除却費、今の施設の価値から、除却費等を差し引いて最終的に無償になるかどうかの検討を進めさせていただくということで、無償ということが前提ありきではなくて、あくまでその価値と、この除却費等を相殺した結果、無償になるかどうかというふうなことを含めて検討を進めていくというふうな形でございます。

事務局から補足とお願いということで申し上げさせていただきたいんですけども、この個別施設計画の方なんですけども、施設の安全性とかそういったところの観点から、それぞれの施設について今後どういふような方向性で検討していくかというところが、33ページから各施設記載させていただいているところでございます。

そういった中で34ページの1番目2番目、東庁舎西庁舎の方につきましては、一番冒頭の説明でもさせていただいております通り、平成29年の11月に基本計画というのができております。こういった施設につきましても、今現状は計画がございまして、その点を転記させていただいてるところにとどめさせていただいております。同じく、市営住宅の方なりも個別計画がございまして、庁舎関係と市営住宅の方につきましてはもう個別計画ができてるといふような状況でもございましてそれを今のところ転記をさせていただいてるようなことになっておりますし、こちらの方がまた見直しということになりましたらそれぞれの個別計画で見直すか、またこちらの方の全体的な計画の中に盛り込んでいくかその点につきまして市の方で調整させていただきたいというふうに思っているところでございます。

以前から西庁舎周辺につきましても、市の方も重点課題としてとらえていることと、東庁舎の周辺整備に合わせて考えさせていただくということを申し上げたと思っておりますけども、新たに市長になられる方につきましても、東庁舎の建て替えの見直しなり、西庁舎周辺整備計画を並行して進めていくということをおられますので、それをもとに市の方でも対応させていただきたいというふうに考えているところでございます。

委員

各それぞれの施設に対して、複合化とか長寿命化とか個別の計画といった部分が打ち出されて、それを期限切りながらされてるところは十分わかったんですけども、例えば複合化とかに対して市の職員さん単独でいろんなことを考えておられるのか、あるいはまちづく

りのコンサル会社とか外の意見も聞きながら、具体的な部分の選択肢がまだまだ少ないような感じますけども、具体的な施策に落とし込んでいく部分の対応というのは、どのように考えておられるのでしょうか。市だけでやるのか、コンサルとかを使うのかとか、そこらはどう考えておられるんですか。

事務局

今のご質問なんですけども、まず市の各施設の複合化という話になっていきますと、やはりそれぞれの施設の複合化を検討という期間を定めておりますので、まずは市の職員の方で、既存の施設の中でも、例えば消防、中学校とかでしたら空き教室も出てくる可能性もありますのでその辺の調整につきましてはまずは市の内部の中で計画させていただきまして、対応していきたいというふうに思っているところでございます。なにごとにもつきましても、計画関係につきましては市の職員の方で考えた上で、また市民さんの利用状況なりを確認させていただきまして、市議会のご意見も確認させていただきまして、そういう複合化と等につきましては、今後も進めさせていただきたいと考えているところでございます。

委員

42 ページの 64 番共同福祉施設になってますが、先ほど説明いただきましたように、新市長の考えでどうなるかわからないということですが、雨漏りがきついと言われてますので、修繕なり改善をお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局

今委員さんが申してくださった通り、共同福祉施設なり社会福祉センター等につきましても、今のところは、庁舎建設及び周辺整備基本計画に則りまして進めさせていただいております。そういった中で、新市長の方が、11月7日から就任されますが、この計画自体につきましても、新市長にご説明をさせていただきまして、その中で、個別施設計画を作っていくというふうに考えております。今のところ、新市長のホームページなり見させていただいておりますと、公共施設にかかる部分につきましては、庁舎関係について今申されてるというようなこと以外は情報が入っておりません。ただ、他の施設につきましても、いろんな意向をお持ちかもしれませんし、その辺で若干なりとも修正が出てくるかもしれませんので、その時にはまたこの委員会の方にご説明をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

委員

滋賀県に越してきて 40 年になるんですけども、こういった公共施設の問題は滋賀県すべての市町村同じ問題なのかなというふうに思うんですが、湖南市が考えてる部分は、他の市町村から比べて、先進的に動いてるのか、あるいはちょっと遅れてるのかというふうな部分をちょっと疑問に感じまして、ちょっとわかれば教えていただきたいなと思います。

事務局

まず、公共施設等のあり方につきましては今後の人口減少を見据えまして、今まであった施設をそのままずっと利用していくのか、施設を更新していくのかそういったところを、今後の財政状況もみまして、非常に懸念されてるところがございまして。そういった中で、各県なり地方公共団体の方に総合管理計画をまず作っていきましようという呼びかけがございました。本市につきましても、他の市町に遅れることなく、総合管理計画を平成 28 年に策定させていただいたところがございます。そういった中で国が各施設それぞれの個別施設計画というものも必要というようなことで、こちらの方につきましては今年度末をもってすべての地方公共団体なりも、この個別施設計画を作っていくべきだという考えを示されておりますので、本市もそれにのっとりまして今年度策定させていただこうと思ってるところでございます。

一部の地方公共団体につきましては、すでにできてるところもございまして、本市と同じような形で、策定作業に取り組んでるところも多々あるというような形で、全国的に今年度末をもちまして個別施設計画を作っていくという動きになっているところでございます。

委員長

全国的には国の方針もありまして今ご説明の通り特に人口減少や、将来の財政負担、特に建物は維持管理やそれから建て替えというのがどうしても将来ありますので、それも含めて実際にすべての施設をそのまま建て替えたり維持管理をしていくというお金はもうないという客観的な計算でございますので、できる範囲というのをまずは考えてそしてできる範囲で、しかし、必要な施設をどう確保していくのかということで、将来にわたって総合管理計画で大きな枠組み、どのぐらい減らすかということを考えていただいているというのが一つ。その枠組の中で、それぞれの個別の施設についてどういうふうにしていくかということで、今見ていただいている個別施設の素案というのが出てきている。そういう考え方で進んでいるかというふうに思っております。先

ほどもご説明ありましたようにすでにこうした個別施設の管理計画をお持ちで、着手をしておられる、そういうところもございますし、まだ現時点で計画を作っておられるところもあります。

ですが、公共施設総合管理計画自体は、すでに4年ほど前にできておりますので、それ以降各市町村ともに、こうした施設の適正なあり方ということで、積極的な取り組みを、この5年間にやってこられてる、そういうところもいくつかございまして、本市も何もしてないわけではなくてすでにいくつかの施設については廃止を決めになられて、さらに取り壊し等にも入っていかれる。また一部の施設については民間譲渡されたりというようなことで部分的に進めてきておられるという状況です。その点で大きく遅れてるということもありませんが、大きく進んでるということでもないのので着実に進めておられるというご理解でよろしいのではないかというふうに思っております。市町村の中にはやはりそれぞれこうした施設のあり方についてなかなか市民の皆さん方との合意もとれず、施設の管理に苦勞しておられるそういうところもなくはありませんが本市の場合は比較的、その点では堅実に進めておられるということだろうかというふうに思っております。

私からは以上とさせていただきます。

委員

50年前ぐらいには、甲西町も石部町もすごい人口が増加しており、それに向けていろんな施設をどんどん建ててですね、それが50年たって老朽化してきてる中、そういう施設を有効に活用していくところをねらった市町村合併なんじゃないかなと思います。そういう中で先ほども出てますけども何人か使う人もいれば、あれば便利という施設もいっぱいあると思うんですが、それを市としては手っ取り早く民営化、民営化ということは結局利益が上がらないとやらないというところですので、切り捨てることになるかもしれないし、市役所も民営化すれば儲かるかもしれないし、今後はそういう風になっていくかもしれない。これから将来の財政規模、そういうところを考えた中で、やはり湖南市として、適切な形とは何かというのは行政が示していかなくちゃいけないし、議員さんに聞いても議員さんも各地域の代表ですので地域のことしか考えられないから、そういう点でやっぱり行政がしっかりそういう指針を、国の指導のもと指針を出して、少しずつそういう目標を目指す形に向けて努力することが必要かなと思います。今は湖南市、括弧、甲西町・石部町、括弧というぐらいの感じかなと思います。ぜひ、この括弧が取れ、湖南市として、住みやすい街というのを、

みんなで実現していける方向に動いてくれるといいのかと思ってます。

こういうコロナとか先見えないですけど、どんどん変わっていくと思います。まだ、これから人口も増えるかもわからないし、何が起きるかわからないので、そういう時に合わせて見直しが絶対必要なんです。いろいろ複合化検討とか書いてますけどもこれの実施にあたっては、地域といろいろ話し合いながら、ぜひその辺をやっていければ、どんどんこうして計画して進めてってもらうといいなと思います。

委員長

庁舎そのものを民間でやっていただくという方法もないわけではありません。PFIとかコンセッションという言い方をされていて、民間の資金、そして民間の計画、企画、そして民間の建設ということを通じて、あとは市が、その施設をお借りして家賃を支払いながら、その建物を民間が採算とれるように運営してくださる仕組みもあります。もちろん、15年から20年とか長期にわたりますので、いろいろ議論はありますし、契約も難しいですし、管理も難しいのですが、そんな方式での建物、公共施設も今増えているということがございます。

何も市が全部やる必要がないというのはその通りかというふうに思っております。本当に市民サービスがきちんと維持できれば、あらゆる手段を考えていくというのが、これからの市政の基本的なあり方かなというふうには思っております。

先ほど少しまとめたようなお話をいただきましたので、話しにくいかもしれませんが、それでは、もし何かあればお願いをいたします。

各委員

(特になし)

委員長

それでは今日は、公共施設等総合管理計画の中で個別施設ごとの計画の素案についてご検討をいただきました。今後新しい市の体制に変わりますので、この内容もまだ多少流動的なところもありますけれども、基本的には当委員会としてはこの素案というのを着実に進めていただく、また様々懸念事項もいただきましたので、そうした基本的な方向というのをしっかり固めて進めていただく、また、将来にわたる負担というのを、できるだけツケを残さない、さらには地域のご意向というのをしっかり踏まえる、その上でなお、市民の皆様にとって必要な機能というのを、経費、費用のことも考えながらきちんと残していく、そう

いうしっかりとした管理方針で進めていただきたいということでご意見をいただいたかというふうに思っております。それぞれの施設の特徴もございますので、また、歴史的な経緯等々もございますので、なかなか一律にはいかないところも多いかと思えますけれども、今回お示しをいただきましたような、個別施設計画の案にし、早急に固めていただいて、着実に次年度以降を進めていただくことをお願いしておきたいというふうに思っております。

もし、各委員から何か付け加えてご意見等ございましたら、いただければと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは本日の議題につきましては以上にさせていただきます。

事務局からその他何かございましたらお願いをいたします。

事務局

事務局の方からその他ということなんですけれども、湖南省の方では新体制となっていくと思います。そういった中で、早急に事務局としましては、この計画をどのようにしていくかという内部調整をさせていただきたいと思えますし、その結果、また変更点等がありましたら皆様の方に周知させていただきまして、またご議論いただきたいというふうに思っております。

それでスケジュール的には今年度いっぱいにかけて、この個別施設計画というのを策定していきたいというふうに思っておりますので、よろしくをお願いします。

それから、皆様方にお願いが一つございます。マネジメント推進委員会の委員さんの任期がこの11月30日をもって切れます。2年任期というところで誠に申し訳ございませんけれどもこの個別施設計画を練るに当たりまして、今後も継続的にご議論をいただきたいということもございますので、引き続き、皆様方にマネジメント推進委員会委員をお願いさせていただきたいというふうに事務局の方で思っておりますので、その点ご協力のほどよろしくお願いいたします。

委員長

それでは本日はいろんな観点から、本当にこれからの湖南省の公共施設を考えていく大事な意見をたくさんいただきました。事務局におかれましては、これからのまちづくり、そして将来を見据えた施設のあり方、基本的な方向性をしっかりと見据えつつ、なお、財政負担や、市民の負担や、さらには、利用者の利便性や、また施設の有用な活用や、そうした観点というのをしっかりと踏まえつつ、地域の事情、そして、

それぞれの利用者の方々のご意向等々もしっかり踏まえてこれからの施設管理進めていって施設の総合管理というのを個別施設についても進めていっていただければというふうに思います。

いずれにいたしましても市としての機能を公共サービス施設サービスという点で確保しながら、なお、将来の縮小社会に耐えられるような、そういう施設の管理運営ということをしていくという非常に難しいことをお願いしなければなりません、事務局におかれましてもそれに向けての公共施設等総合管理計画そして個別施設計画でございます。

次年度以降、この計画の実施に向けて、しっかりと内容を詰めていただければ、政治的にはちょっとよくわからないところがありますが、基本線というのが大きくぶれるということはないだろうというふうに勝手に思っておりますので、そういう方針でしっかり進めていただければというふうに思っております。

それでは私の方の出番は以上にさせていただいて、事務局の方にお返しをさせていただきます。

事務局

新川委員長様、各委員の皆様、本日は熱心なご議論いただきまして、ありがとうございます。

それでは、これをもちまして、第2回湖南省公共施設等マネジメント推進委員会を閉会させていただきます。

どうも本日はありがとうございました。

終了

閉会 10:45